

2025年6月

生成AIを教育に活かす 実践紹介



Kudan Creative AI

otomotto

千代田区立九段中等教育学校 CNV室





豊かな心 知の創造 未来貢献

リーディングDXスクール・DXハイスクール

開校

平成18年4月

所在地

東京都千代田区九段北

校種

全日制普通科・区立中高一貫教育校

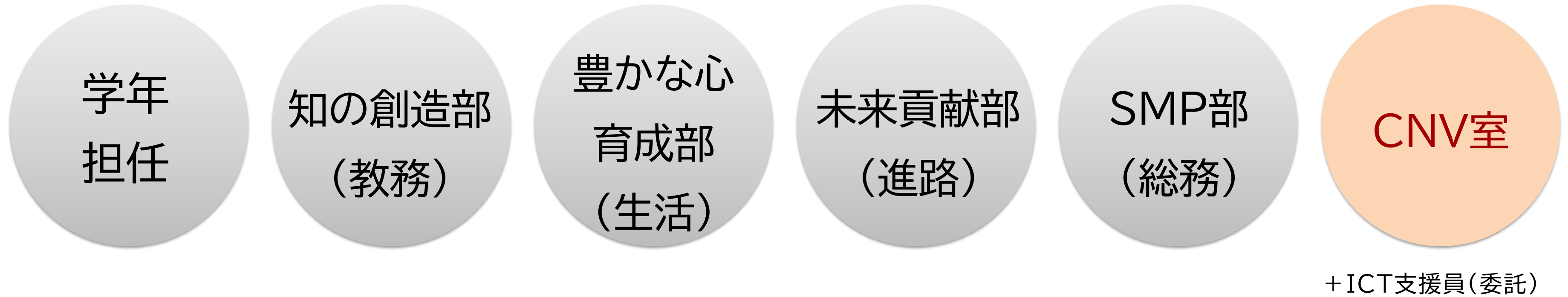
学級数

4クラス×6学年

教職員数

約120名(非常勤含む)

教育DX推進のための校内体制



CNV:to Create a New Value

新たな教育活動の企画運営

教育DX推進 総合的な学習・探究の時間 グローバル教育

本校専用生成AIシステム



Kudan Creative AI

otomotto

GPT/Gemini/Claude
無制限で利用可能

利用者の声を反映して継
続開発、バージョンアップ



教育利用 生成AI自体を学ぶ場面

生成AIガイダンスの実施

R6 全学年セーフティ教室で実施

R7～ 入学時オリエンテーション期間に実施

生成AIの仕組み、利便性とリスク、留意点

⇒どのような場面で活用できるか、何に気をつけるかを話し合う

教育利用 使い方を学ぶ場面

情報 I プロンプトエンジニアリング

生成AIを使いこなし、より良い回答を
引き出すにはどうしたらよいか

生徒自身が調べ、実際に体験し、確認する

効果的なプロンプトに重要なキーワード

役割付与

目的設定

状況設定

条件設定

回答指示

- 効果的なプロンプトを書くために必要な要素を、左のキーワードに着目して調べ、まとめる

- それができている例とできていない例を示し、回答が実際にどのように違うのか確認して説明する

流れ（1コマ目）

1. 使用上の注意点を再確認
→グループ内ディスカッション 3分
- 2 a. 生成AIでの効果的なプロンプトの書き方について、
割り振られたキーワードを中心に調べてまとめる
→プレゼン資料共同編集 15分
- 2 b. 2 aで調べた内容を活かした良いプロンプトの例と
そうでない例を複数作成し、資料に加える 15分
3. 内容があるかの確認と発表準備 10分
1班2分以内で発表できる内容にまとめること

教育利用 各教科の学びにおいて積極的に用いる場面

- ①個々のつまづきポイントを解消することに役立てる
- ②多角的な視点をもたせたり視覚的に表現したりすることに役立てる
知識の定着のために問題を生成して解答練習することに役立てる
- ③それぞれの活動を支援したり効率化させたりすることに役立てる

⇒Teaching Assistant(TA)として機能

学びサポート①

例：英語で対話しながら英作文

英作文が不得意だから手順を細かく教えてほしい

難しい・・・

わからない・・・

〇〇のテーマで文章を作るときによく使われる中学生レベルの英単語を〇個教えてほしい



この文章を添削してアドバイスをほしい

自信がない・・・



学びサポート②

例 社会 ディベート練習
国語 物語の場面を画像化
生物 練習問題作成と共有

〇〇時代の・・・



〇〇の立場で・・・

イメージを画像に



〇〇の立場で意見を言う
からそれに反対の立場で
意見を言ってほしい

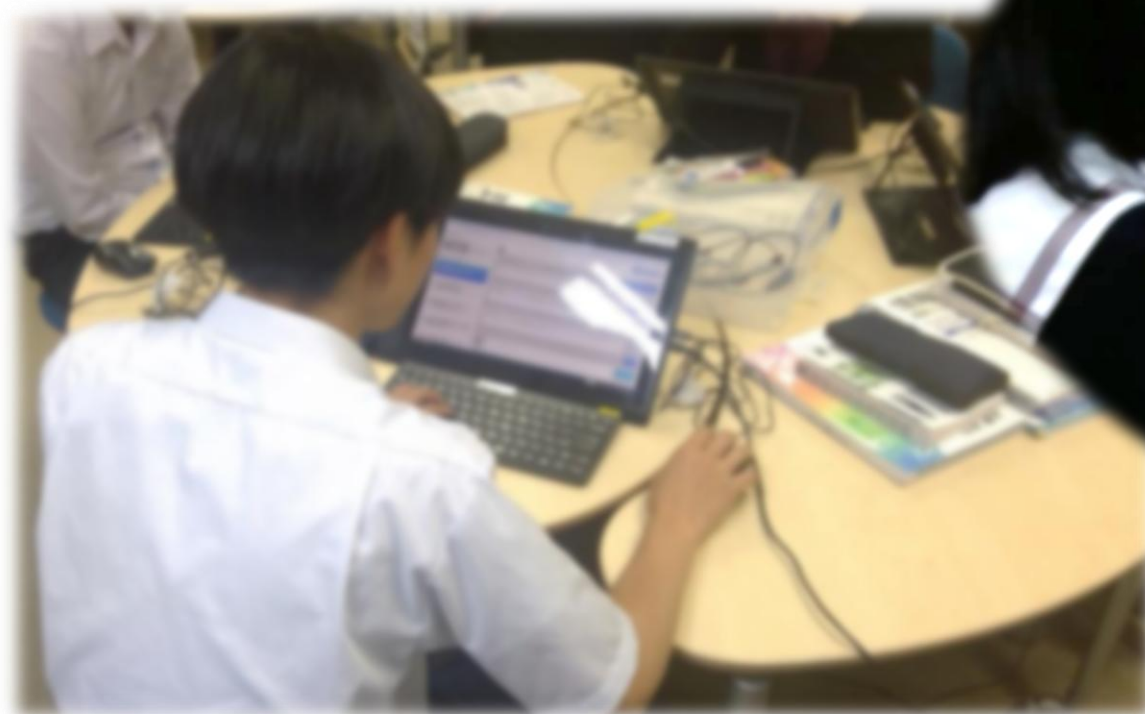
学びサポート③

〇〇のアプリを開発するにはどのようなプログラムコードが必要？

例 探究(個別のテーマ設定)
実習(専門性の必要なもの)

先へ進めない・・・

〇〇するために次の手順で考えているのでアドバイスをしてほしい！



〇〇のテーマで研究をするときに考えられる実験はどのようなものがある？

次に何をしようか・・・

他にどんな案があるかな・・・

校務サポート

1. 文書作成、アンケート集計
2. 資料添削
3. 生徒提出物添削
4. 作問補助
5. サンプルデータ生成

この資料の内容を添削し、修正が必要な個所を指摘してください。

この資料は、千代田区立九段中等教育学校における生成AIの活用事例に関するプレゼンテーション資料のようです。資料全体としては、生成AIの導入目的、システム概要、活用事例、生徒・教員の声、今後の展望などが網羅されており、情報が整理されている印象です。

しかし、いくつか修正が必要と思われる点や、より分かりやすくするための改善点を以下に挙げます。

1. 表現の統一性:

- 「DX」や「生成AI」といった用語の定義を冒頭で明確化すると、理解しやすくなります。
- 「学びサポート」と「校務サポート」の部分は、生徒用AIシステム、教員用AIシステムと表現を統一した方が良いでしょう。

この資料は研修会で実践内容を紹介するためのものです。

研修会で実践内容を紹介するための資料とのことですので、先ほどの回答に加え、以下の点を考慮すると、より効果的なプレゼンテーションになるでしょう。

1. 研修参加者への配慮:

- 研修参加者の属性（教員、教育関係者、一般の方など）や知識レベルを想定し、内容を調整しましょう。例えば、生成AIに馴染みのない参加者が多い場合は、基本的な概念の説明を加える、専門用語を避ける、図解を多用するなど工夫が必要です。
- 研修の目的を明確化し、資料全体を通して一貫したメッセージを伝えるように心がけましょう。例えば、「生成AIを活用した授業改善」や「校務効率化のためのAI活用」など、具体的なテーマを設定すると、参加者にとって理解しやすくなります。
- 研修の時間枠を考慮し、適切な情報量に調整しましょう。詰め込みすぎると理解が追いつかず、要点が伝わりにくくなってしまいます。

2. 実践内容の具体化:

- 生成AIをどのように活用したのか、具体的な手順や方法を詳しく説明しましょう。例えば、授業での活用であれば、どのようなツールを使い、どのようなアクティビティを実施したのか、具体的な例を挙げて説明すると分かりやすくなります。

生成AIを活用した自動処理ツール

複数のドキュメントを読み込み



指定したプロンプトを実行



回答出力

それぞれのファイルに書き込む

orリストで出力

九段校務専用生成AIシステム（ドキュメント自動処理ツール）

[設定フォームへ](#)

目的 / 概要

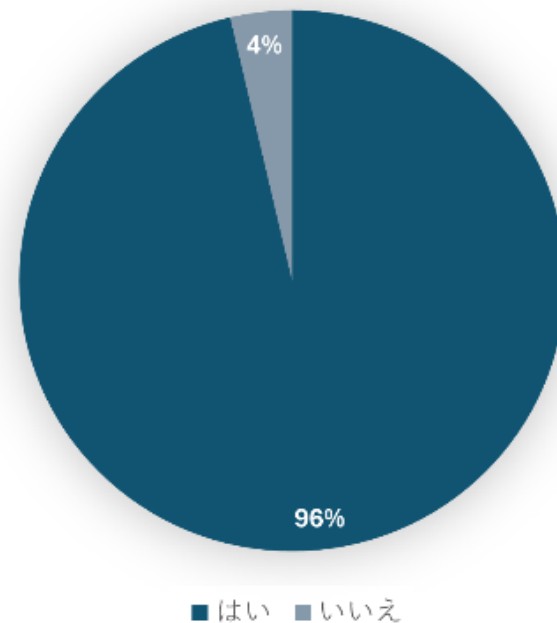
本システムは、フォルダ内のWord/Excel/PowerPoint/PDFなどのファイルを自動的に処理してAI回答を生成・保存する仕組みを提供します。採点や校閲、テキストの整形など、さまざまな校務の効率化に寄与することを目的としています。

使用方法

1. 設定フォームに移動します。
2. 対象フォルダのリンク、AIへのプロンプト、出力形式などの項目を入力してください。
3. 「実行」ボタンを押すと、対象ファイルが自動的にAIに送られ、回答結果が生成されます。
4. 結果は選択した方法（個別ドキュメント、まとめシートなど）で新規作成されます。
5. 処理が完了すると、結果フォルダのリンクがダイアログ上に表示されます。

生徒の声

「疑問にすぐに答えてくれる」
「自分にはない視点から様々な意見を出してくれる」
「行き詰まったときにサポートしてくれる」
「作業を効率化できる」
「硬くなっていた頭を和らげる手伝いになった」



生成AIは学習に効果的であったか Yes:96%
(R6年度高校1年生137名)

「どうしても楽をしてしまう」
「鵜呑みにしてしまう」



「思考の手助けに使いたい」
「自分が気づかないようなところを指摘してもらおう」
「自分に足りない部分を補う」
「問題解決のヒントとなるように活用していきたい」

新しい価値を創造する人材育成

生成AIの活用により
教育の質が向上する環境づくり

学習者中心の学びを実現

